甘楽町広報

第九号

発行所　群馬県甘楽郡甘楽町役場
編集　甘楽町役場総務課広報係
印刷所　誠文堂印刷所

昭和35年2月15日（毎月15日発行）

1月の動態

人口	15,095人
男	7,216人
女	7,879人
世帯	2,673世帯
転入	38人
転出	44人
出生	29人
死亡	17人

2月の納税

一、所得税の申告納付3月15日まで
二、贈与税の申告納付2月末日まで
◎期限内に完納してください。

飛躍と平和の象徴
甘楽町の町章決まる

昨年12月、第7号甘楽町広報で町章を募集したところ、締切り日までに、百四十五点の応募がありました。そこで、1月12日に町長、議長をはじめ、学識者を含めた19名の審査員によって厳密審査を行なつた結果、大塚英雄氏（白倉）の作品が一等に入選、これを町章に採用することを決定したものです。

【大塚英雄氏の略歴】
大正2年3月7日白倉に生れる。新屋小卒業後東京へ出て商店に勤務。その間友人と画を勉強、現在は肖像画を専門に描いている。短歌も作り高岡市の故早水城春、草之助兄弟らと短歌雑誌「踏土」を発行したまた川柳は吉井竹柳会に所属、昭和29年には伊勢崎市主催の両毛川柳大会で四位を獲得。一昨年以来は新屋青年学級講師として演劇の指導にあたる。過去の入賞歴は横浜ゴム社章一等（昭和21年）、新屋小章一等（昭和29年）、コンテ肖像画熱展入選二回（昭和29年、34年）

町章は、中心部の円型と、上部両端で「甘楽」の「甘」を、両端はそれぞれ「ラ」を表わしたもので、丸は円満、平和を意味し、全体の形ちが平和のハトであり、鳥獣の長である「ワシ」であり、その「ワシ」にも似て、鋭いはばたきをもつて、甘楽町の飛躍、発展を意味付けたものです。

（入賞者氏名）称略
△一等　大塚英雄（白倉）
△二等　高橋維揚（小幡）、小林晴雄（善慶寺）
△三等　井野口勇（小川）、高橋勝正（小幡）、飯塚善勝（秋畑）

写真　下段向つて右から高橋（維）、大塚、小林、上段向つて右から井野口、高橋（勝）飯塚の諸氏

昭和34年度12月末の町財政事情の公表

昭和34年度12月末の町財政事情が明らかになりましたので、お知らせします。以下、歳入歳出その他を数字やグラフを通じてお知らせしますが、当初予算については、すでに広報第一号で簡単に発表してありますから、重複をさけることにします。

そこで、その後の主な変化をみますと、当初予算で約五千九百四十七万円だつた合計額が、12月末では約六千**四百十六万円**にふくれあがつています。**その理由としては**、二回の追加更正がありました。**つまり8月13日に**、土木費で福島地内県道舗装工事に対する寄付金二十万円、道路災害復旧費三十二万七千円、社会労働施設費で、9月1日から実施された国民年金の取扱費約二十九万一千円、保健衛生費で消毒薬品購入費等二十五万余円、産業経済費で職員一名の増、凍霜害対策肥料購入費補助、農地集団化の事業費等を合わせ約八十四万三千円、他に議会費、役場費、**教育費**財産費、統計調査費、選挙費等の増を含めて合計二百二十一万三千五十二円を追加しました。

続いて**11月19日**、役場費で庁舎の増築費四十五万円及び、退職職員に対する退職手当約九十六万一千円、土木費で本年台風7号、15号による土木関係災害の復旧費として九十一万一千円、他に教育費約五万三千円、社会労働施設費約一万五千円、秋畑中学校の敷地拡張のための土地購入費十五万円増、電話交換機出資金二十四万五千円の全額更正減等で、差引き二百四十七万九千四百七十円の追加をしました。

以上のとおりですが、追加更正後の現在予算については、各款ごとに別表にしるしました。また税の納入状況も、グラフ等でご覧ください。

一般会計、やや順調

収入				支出			
科目	予算現額	収入額（12月末）	予算に比し%	科目	予算現額	支出額（12月末）	予算に比し%
町税	25,315,880	22,734,099	89,80	議会費	1,315,610	1,066,954	81,09
地方交付税	19,651,000	18,202,000	92,63	役場費	17,659,912	13,048,031	73,89
公営企業及財産収入	93,930	139,082	148,07	消防費	3,009,550	1,739,600	56,20
分担金及負担金	4,188,000	0	0	土木費	6,700,498	2,705,713	40,38
使用料及手数料	1,054,400	810,905	76,91	教育費	11,151,816	8,405,913	75,38
国庫支出金	1,734,991	656,932	37,86	社会及び労働施設費	2,576,685	1,675,433	65,02
県支出金	4,710,905	389,977	8,28	保健衛生費	1,867,913	1,199,750	64,22
寄付金	1,384,171	266,770	19,27	産業経済費	14,523,732	3,649,425	25,13
繰越金	4,960,674	4,960,674	100,00	財産費	774,667	667,374	86,15
雑収入	363,000	537,304	152,21	統計調査費	334,810	32,883	9,82
繰入金	712,400	725,231	101,80	選挙費	392,400	307,463	78,35
				公債費	1,645,288	993,022	60,36
				諸支出金	1,790,500	467,366	26,10
				予備費	425,070	0	0
合計	64,168,451	49,422,974	77,02	合計	64,168,451	35,958,927	56,04
				収入支出差引		13,464,047	

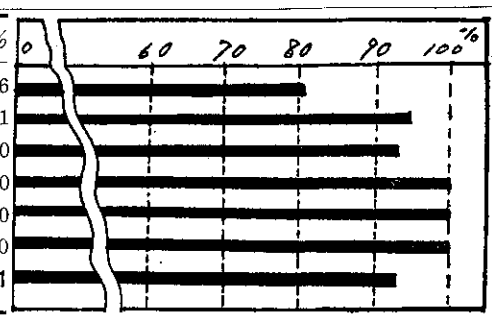
昭和34年度収入支出の状況

空気が乾燥しています。火の元にご注意ください。

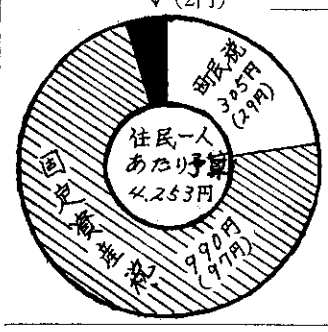
住民一人の町税負担状況

下図は住民が直接納入する主要な三税の、一人あたりの状況です。かつこ内は滞納繰越分で、いずれも12月末現在のものです。

税目	調定額	収入済額	収入率%
町民税	4,603,880	3,694,890	80,26
固定資産税	14,946,840	14,125.720	94,51
軽自動車税	840,430	775,740	92,30
電気ガス税	887,787	887,787	100,00
たばこ消費税	1,997,100	1,997,100	100,00
木材引取税	77,075	77,075	100,00
合計	23,353,112	21,558,312	92,31



昭和34年度の町税収入状況（12月末現在）



昭和34年度国保会計収入支出の状況

（34.12月末）

収入				支出			
科目	予算現額	収入合計額	予算に比し%	科目	予算現額	支出合計額	予算に比し%
国民健康保険税	6,290,650	5,171,177	82,2	役場費	1,786,975	1,266,002	70,8
使用料及手数料	40,600	14,470	53,6	保険給付費	9,458,910	7,014,784	74,2
国庫支出金	4,431,600	3,528,000	97,6	保険施設費	1,084,982	838,862	7
県支出金	8,000	0	0	公債費	10,640	0	0
繰入金	600,000	0	0	諸支出金	249,821	186,187	74,5
繰越金	1,500,000	1,865,340	124,4	財産費	100	0	0
雑収入	71,112	53,660	75,5	趣旨普及費	27,000	3,390	12,6
財産収入	4,000	0	0	予備費	327,634	0	0
寄付金	100	14,040	140,4				
合計	12,946,062	10,646,687	82,2	合計	12,946,062	9,309,225	71,9
				収入支出差引額	0	1,337,462	

苦しい国保会計
一カ月百万円の給付費

国民健康保険は、一般会計に比較して、苦しい状態にあります。

保険給付費が12月末現在で七百万円支払ってありますが、これは10月までの7ヶ月分ですから、1ヵ月約百万円を必要としこの割合でゆくと、年間一千二百万円になります。

これに対し、収入の保険税の金額（調定額）は、約六百十三万円で、ほかに国庫補助金が約四百八十万円の見込みですから一般会計から、約百万円の繰入金を求めなければならない状況です。

このことから、一日も早く滞納税金を納入されることが望まれています。

一金百万円なり
保険税の滞納です

保険税の12月末現在の滞納、現年度分は約三十四万二千円、昨年以前の滞納分が約六十万三千円、合計約九十四万五千円の多額にのぼつています。

一日も早く完納して、国保の運営が円滑にできるようご協力ください。

◎鏑川土地改良区総代選挙

投票日は
立候補締切りは